

1. 事業の状況

1. 学術研究助成事業

寄附行為第4条(1)に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

(2) 事業の概要

(イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

(ロ) 研究助成の種目と助成額

(A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

1件 1件 200万円 200万円

(B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

3件 1件 70万円 210万円

奨励研究 37才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件 1件 30万円 120万円

(C) 特定研究

研究テーマを決めて助成するもので、年齢制限を設けない。

8件 620万円

(ハ) 募集方法

岡山県下の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布(財団ニュース88号及び財団ホームページに掲載)4月8日に締切った。

(ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

(ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備 考
		件	件	%	
内山勇三科学技術賞	特別研究	3	1	33	特定研究 応募 8件 採択 8件
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	10	3	30	
	奨励研究	11	4	36	
計		24	8	33	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額 万円
岡山工学振興会 科学技術賞 一般研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 教授	尾坂 明義	アンピエントナノテクノロジーによる材料と生体組織結合性の制御	200
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	藤森 和博	弾性波による無線送電システム用トランスデューサの最適設計	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 講師	内田 哲也	単層カーボンナノチューブ単結晶をナノフィラーとして用いた高分子複合体の実用化に向けた機能探索	70
岡山工学振興会 科学技術賞 奨励研究	岡山大学大学院 環境学研究科 准教授	高口 豊	有機太陽電池材料を指向したフラーレン誘導体の合成	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (理学系) 助教	岩崎 真之	パラジウム触媒を用いるスルファニルクロリドのアルキンへの位置および立体選択的付加反応を利用した高原子効率的新規物質変換法の開発	30
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	田上 周路	光ファイバを用いた磁気センサの開発と高感度化	30
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	寺西 貴志	広帯域導電スペクトロスコーピーによるイオン伝導性酸化物における微視的電気伝導挙動の解明	30
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	曲 正樹	ニフトリモノクローナル抗体作製のための基礎的研究と実用化	30

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額 万円
特 定 研 究	川崎医科大学 教 授	吉田 清	虚血性心疾患の病態生理の研究	30
	岡山県立大学 准教授	佐藤 洋一郎	EPGA を用いた回路設計 教育用教材の開発	10
	川崎医科大学 教 授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教 授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	川崎医科大学 教 授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	30
	岡山大学 教 授	高田 潤	機能性酸化鉄の研究開発	20
	岡山大学 教 授	木股 敬裕	自己集合性のペプチドゲルの高度 医療への応用研究	380
	川崎医科大学 教 授	吉田 清	虚血性心疾患の病態解明と新しい 治療法の開発	50
	計		8件	620

2. 国際研究集会等派遣の助成

寄附行為第4条(1)(2)に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県下の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

(2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

(3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会参加者 12 名に対し、94.2 万円の助成を行った。

部 局	職	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 地
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	豊田 啓孝	2011年アジア・太平洋環境電磁工学シンポジウム	韓国 済州島
岡山大学大学院 自然科学研究科	講師	竹内 孔一	知識工学とオントロジー開発の国際会議	フランス パリ
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	是永 敏伸	第16回有機合成指向有機金属化学国際会議	中国 上海
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	黒星 学	第219回米国電気化学会	カナダ モントリオール
津山工業高等 専門学校	講師	大野 威徳	4th International Conference of The Asian Society for Precision Engineering and Nanotechnology	中国 香港
津山工業高等 専門学校	准教授	西尾 公裕	第5回人工頭脳学および知能システムに関する電気電子技術者協会の国際会議	中国 青島
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	曾我部 英介	第14回国際先端砥粒加工シンポジウム	ドイツ シュツットガルト
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	于 英花	2011IEEE/ICME 複合医工学国際会議	中国 ハルビン
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	楊 菁菁	2011IEEE/ICME 複合医工学国際会議	中国 ハルビン
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	呉 瓊	2011IEEE/ICME 複合医工学国際会議	中国 ハルビン
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	廣岡 大祐	インテリジェント・メカトロニクスの国際会議	ハンガリー ブタペスト
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生	山口 大介	IEEE 国際超音波シンポジウム 2011	アメリカ オランダ

3. 学術研究集会、学術講演会の助成

寄附行為第4条（3）に掲げる事業は次により行った。

（1）事業の目的

岡山県下で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

（2）助成対象の研究集会

（イ）学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県下で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

（ロ）公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

（ハ）財団が認める組織が主催するもの。

（3）学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 13 件について、54 万円の助成を行った。

研究集会名	主催団体	世話人
日本伝熱学会創立 50 周年記念第 48 回日本伝熱シンポジウム	日本伝熱学会	岡山大学 春木 直人
電気加工懇話会 第 61 回例会	電気加工懇話会	岡山大学 岡本 康寛
(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 2011	(社)日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門	岡山大学 則次 俊郎
第 14 回市民フォーラム 「未来を拓く農芸化学」	日本農芸化学会中四国支部	岡山大学 稲垣 賢二
第 49 回炭素材料夏季セミナー	炭素材料夏季セミナー実行委員会 (共催：炭素材料学会)	岡山大学 後藤 和馬
日本下垂体研究会第 26 回学術集会	日本下垂体研究会 第 26 回学術集会	岡山大学 高橋 純夫
日本機械学会 第 24 回計算力学部門講演会	一般社団法人 日本機械学会	岡山大学 清水 一郎
精密工学会中国四国支部創立 60 周年記念講演会	(社)精密工学会中国四国支部	岡山大学 大橋 一仁
第 28 回日韓国際セラミックスセミナー	第 28 回日韓国際セラミックスセミナー実行委員会	岡山大学 尾坂 明義
第 20 回計測自動制御学会中国支部学術講演会	計測自動制御学会中国支部、岡山大学(共催)	岡山大学 五福 明夫
日本生産管理学会中国・四国支部 支部研究会	日本生産管理学会中国・四国支部	岡山大学 大久保 寛基
自然エネルギー利用の実際と原子力発電の基礎を知る	瀬戸内自然エネルギー研究会	岡山理科大学 若村 国夫
第 18 回 日本 FES 研究会学術講演会	日本 FES 研究会	岡山理科大学 山本 敏泰

4. 産学官連携事業の助成

寄付行為第4条(5)に掲げる事業は次により行った。

- (1) 事業の目的
岡山県下の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。
- (2) 助成対象の研究会等
財団が設置を認めた産学官連携研究会等
- (3) 産学官連携研究会等の助成実績
なし

5. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

寄附行為第4条(3)(4)に掲げる事業は次により行った。

- (1) 学術的研究成果及び学術情報の普及
学術研究助成者による講演会を開催。
岡山大学工学部研究年報、工学部紀要、並びに(財)岡山工学振興会ニュースを企業に提供。
ホームページ(URL: <http://www1a.biglobe.ne.jp/ofst/>)に掲載
- (2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY (財)岡山工学振興会年報)の発行と配布
学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県下の大学、研究機関及び企業に配布した。

6. 地域企業等との連携・交流事業

寄付行為第4条(5)(6)に掲げる事業は次により行った。

- (1) 環境調和・省エネルギー技術研究会開催
- (2) 岡山ロボット研究会の開催
- (3) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催
- (4) 「ほっとサロン」及び「ほっと交流会」の開催